

# きのくに自主防災

第14号(平成26年3月号)

<発行元>

和歌山県自主防災組織情報連絡会事務局(和歌山県総合防災課内)

## 岩出市、広川町で災害図上訓練(DIG)を実施!



(研修会の会場の様子)

和歌山県自主防災組織情報連絡会フォローアップ研修会を岩出市(2/23)と広川町(2/15)で開催し、災害図上訓練(DIG)を実施しました。

災害図上訓練(DIG)とは、災害(Disaster)想像(Imagination)ゲーム(Game)の略で、参加者がグループになり、大きな地図にその地域の浸水域などを書き込み、実際に災害が起きた時の状況をイメージし、災害時の対応や事前の対策などについて考える訓練です。

今回は、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センターの近藤伸也研究主幹(岩出市)と宇田川真之研究主幹(広川町)を講師としてお招きし、岩出市では、「災害図上訓練(DIG)風水害版」(台風などにより紀の川が氾濫した場合を想定)を、広川町では「災害図上訓練(DIG)地震・津波版」(東海・東南海・南海3連動地震を想定)を実施しました。

訓練は二部構成で実施し、第一部では、「地域の危険の見える化」として、用意した地図に自然条件(山、河川等)、地域資源(官公庁、医療機関等)や避難所をマジックやカラーシールでチェックし、さらにその上に浸水想定図を見ながら地図にマジックで浸水域を塗りました。

さらに、作成した地図から安全に避難するための対応策などについてグループで議論しました。

また、第二部では「状況付与による対応策の検討」として、地図に表した災害が実際に起きたことをイメージして、避難行動や避難所運営での対応についてグループで意見交換を行いました。

岩出市での意見発表では、風水害時の避難について「耳が聞こえない方は、大雨が降っていても雨音がわからないので、どれだけ危険な状況なのかかわからない。直接訪問して教えることが必要。」など各グループから活発な意見がありました。



(地図に書き込みを行っている様子)



(グループで検討したことについて発表)

## ～ 県内自主防災組織等の活動紹介 ～

### ◆ 災害時はトイレが大変！簡易トイレ作り NPO 法人砂山バンマツリ（和歌山市）

平成 25 年 11 月 23 日（土）に和歌山大学防災研究教育センター今西武客員教授を招き、災害時のトイレの確保について講座を実施しました。

今西客員教授からは、トイレが不足した際の避難所の状況についてわかり易く講義いただき、参加者全員で大規模災害時におけるトイレの確保の重要性について考えました。

また、講座の後は参加者が実際に手を動かして、「ポータブルトイレ」と「赤ちゃんのおむつ」の作り方を学びました。ポータブルトイレは、新聞紙とペットシートで、おむつはレジ袋とペットシートで作りました。

特に、おむつを作る時は、子育て経験がある女性が中心になって、参加者全員で楽しく作ることができました。

地域で行う防災活動では、男性だけでなく女性や子どもと一緒に地域一体で活動しやすい環境を作ることが必要だと思います。

今後も地域に根差した活動により一層力を入れ、取り組んでいきたいと思っています。



（講座を聞き、簡易トイレを作る参加者）



（赤ちゃんのおむつ作りを体験）

### ◆ 楽しく学び、災害時に実践できるようにする 今中地区自主防災会（岩出市）

今中地区自主防災会では、「楽しく学び、実践すること」をモットーに継続的に防災講演会や訓練などを実施しています。

定期的に行っている炊き出し訓練では、参加者に楽しく参加してもらえるよう災害時に実際に使用する代用コンロなどを用いて、アルファ化米などの非常食の他、大根餅や、焼きそば、ピザや冷や汁など豊富なメニューで訓練を実施しています。特に大根餅については、地域で大根の収穫が多いため「災害時にも身近にあるもので作れる」と、参加者に非常に好評でした。女性や子どもも楽しく防災活動に参加できるように、この炊き出し訓練を避難訓練や消火訓練等の訓練と必ずセットで行うことで、地域の参加者が増えました。

活動を始めた当初は防災を難しく考え、知識を詰め込む研修会ばかりを実施していたため、あまり参加者に防災活動に興味を持ってもらえなかったという苦い経験をしました。

今は、参加者に無理なく楽しんで学んでもらうということを念頭に実践重視で訓練などを実施しています。

今後も多くの住民に参加してもらえるように、工夫をしながら防災活動に取り組んでいきたいと思っています。



（地域で集まって炊き出し訓練の準備）



（防災訓練の一環として実施した消火訓練）



## ◆ 防災訓練・学習に延べ約 1,100 人が参加

## 秋津町自主防災会（田辺市）

秋津町自主防災会では、平成 25 年 12 月 8 日（日）に「第 11 回秋津町防災デー」を実施しました。「秋津町防災デー」では、平成 15 年から毎年防災訓練や研修会を実施しています。

今回は、津波避難訓練と防災学習会を実施しました。

津波避難訓練では、南海トラフ巨大地震が起きたことを想定し、津波到着時間を 12 分に設定しましたが、ほとんどの住民が到達時間前に避難を完了しました。

参加者も約 850 人となり、小中学生、家族連れなど若い世代も多く参加し、町内一体となって訓練を行いました。

また、防災学習会では、約 250 名の参加者が集まり、国・県・市町村の防災関係者の方々に来ていただき、研修会を実施しました。

**住民の防災意識向上のため、訓練後は必ず「秋津町内会便り」で訓練実施の取り組みについて住民に広報**するようにしています。

今後も、更なる防災意識の向上を目指して、取り組んでいきたいと思ひます。



（避難訓練で避難する住民）



（「秋津町内会便り」で秋津町自主防災会の取り組みを紹介）

## ◆ より高い所へ逃げるため、避難路の整備を促進

## 姫区自主防災会（串本町）



（避難路を整備している様子）



（完成した避難路）

姫区自主防災会では、より高い所へ住民がすぐ逃げられるよう特に避難路の整備に力を入れて取り組んでいます。

今年度は、串本町の補助金を活用し、新たに 1 か所の避難路を自主防災会が手作業で整備しました。避難路整備では、傾斜地にブロックを埋め込んで階段を作り、住民が安全に避難できるように手すり設置したり、海拔表示板なども設置しました。

また、新たに避難路を整備する以外に、既にあった避難路についても、より高い所へ住民が避難できるよう延長工事を実施しました。

延長工事を実施した 2 箇所のうち 1 箇所の避難路については、串本町が実施している補助金を活用して、費用が不足する部分は自主防災会で負担し、整備を実施しました。

また、もう 1 箇所の避難路の延長工事については、串本町に整備いただき、今年度で延長工事を含め 3 箇所の避難路整備が進みました。

今後も南海トラフ地震など大規模災害に備えて、地区の住民のため避難路整備の取り組みをさらに進めていきたいと思ひます。

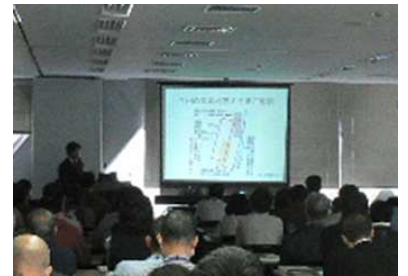
また、**住民には災害時はどこに逃げるのかということ**を主体的に考えられるよう、**整備した避難路を活用し、継続的に訓練を実施**していききたいと思ひます。

# 「出張！県政おはなし講座」のご案内

県総合防災課では、「南海トラフ地震」をテーマに、防災・減災対策について出前講座を行っています。地域や企業での学習会で是非ご活用ください。

## 【利用案内】

- ・県内在住、もしくは通勤・通学している15名以上のグループが対象
- ・日時をご希望に応じます。(土日祝日、夜間可能)  
※あらかじめ電話等で調整をお願いします。
- ・県職員の派遣や配布資料の作成等については県で負担いたします。  
(会場の手配やそれに係る費用は、申込者の負担となります。)



## 【お申込み方法】

- ・県総合防災課まで、申込用紙を送付してください。(郵送、FAX、電子メール)  
↓ 申込用紙は下記URLからダウンロードしてください。  
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/shuttyou/>
- ・日程調整等のため、実施希望日の1カ月前までにお申し込みをお願いします。

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 和歌山県危機管理局総合防災課 防災企画班 宛て  
TEL: 073-441-2271 FAX: 073-422-7652  
E-mail: [e0114001@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0114001@pref.wakayama.lg.jp)

## ◆ 防災わかやまメール配信サービス

県内の気象情報や地震・津波の警報・注意報などさまざまな情報をパソコン、携帯電話などに電子メールでお知らせします。

下記の配信サービス登録用QRコードからぜひご登録ください。



防災わかやまメール配信  
サービス登録用QRコード  
[regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp](mailto:regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp)  
上記アドレスに空メールを送信してください。

## ◆ 避難先の検索

### ・避難先の位置確認は「Yahoo!ロコ」で！

パソコンや携帯電話のインターネットから避難先を検索できます。  
Yahoo!JAPANが提供するYahoo!ロコから、「ジャンル一覧」→「暮らす」→「避難所、避難場所」で検索してください(登録不要)

### ・iPhone やスマートフォンをお持ちの方は

アプリをアップストアやPlayストアで検索し、ダウンロードすると、GPSにより現在地から避難先までのルート検索ができます。



ファーストメディア  
「全国避難所ガイド」  
<http://www.hinanjiyo.jp/>



イサナドットネット  
「逃げナビ〜和歌山防災〜」  
<http://bosaiapp.jp/>

## 「きのくに自主防災」に掲載する防災活動事例を募集しています！

「きのくに自主防災」では、地域で防災活動に取り組まれている方々の活動事例を募集しています。

紀伊半島大水害の体験談や学校と連携した防災活動など特色ある活動事例などをご紹介いただける場合は、下記の電話番号までご連絡をお願いします。

※ 紙面の都合上によりご紹介いただいたものすべてを掲載できない場合もございますので、予めご了承ください。

## 【お問い合わせ先】

和歌山県危機管理局総合防災課 防災企画班 TEL: 073-441-2271 FAX: 073-422-7652